

盛岡構想区域における地域医療構想に係る具体的対応方針 集計（有床診療所） ※令和6年度調査

議題(1) 資料1-3

No.	医療機関名		許可病床		病床機能					診療科目	病院の役割・特色	2025年を見据えた今後の方向性
			許可	最大 使用 病床 数	高度 急性 期	急性 期	回復 期	慢性 期	計			
1	産婦人科吉田医院	2024 (R6) 調査	17	7	0	7	0	0	7	—	産婦 正常分娩・産後ケア（の充実） 切迫流産の入院管理 思春期から老年期までの女性の年代に沿ったケア	産後ケアの需要が増加している。 スタッフの確保ができれば多くの方のケアが可能となります。
		2025 (R7) 見込			0	8	0	0	8	0		
2	みうら産婦人科医院	2024 (R6) 調査	16	16	0	16	0	0	16	—	産婦 ・周産期母子医療、婦人科医療、女性のヘルスケア ・妊婦健診、乳児健診、産前産後のサポートを行っている。	・地域医療に貢献し、産後ケア事業にも積極的に取り組んでいく。
		2025 (R7) 見込			0	16	0	0	16	0		
3	鈴木肛門外科・守口内科	2024 (R6) 調査	6	6	0	6	0	0	6	—	肛外 主に肛門疾患の術前術後管理に病床を利用し急性期医療を担っている。	平日最大4～5名の日帰り手術を行っている。術後急変に対する病床も必要であり、現在の病床数の6床が必要であり、病床削減予定はない。
		2025 (R7) 見込			0	6	0	0	6	0		
4	黒川産婦人科医院	2024 (R6) 調査	15	15	0	15	0	0	15	—	産婦 ・周産期医療のローリスク分娩取扱施設として妊婦健康診査や入院管理を行っている。 ・婦人科診療、子宮頸がんワクチン接種、子宮がん健診など、女性特有の症状への対応や予防医療に取り組んでいる。	・育児支援が必要な母親が増えているため、市町村と連携して産後ケア事業（デイケア）の委託に積極的に取り組み、退院後も継続して母子への支援ができるよう取り組んでいきたい。
		2025 (R7) 見込			0	15	0	0	15	0		
5	しんたろうクリニック	2024 (R6) 調査	11	6	0	6	0	0	6	—	肛・外・内・胃・皮 肛門疾患の術後の経過観察を中心とした入院となっている。	有床診療所として現在の機能を継続予定。
		2025 (R7) 見込			0	6	0	0	6	0		

No.	医療機関名		許可病床		病床機能					診療科目	病院の役割・特色	2025年を見据えた今後の方向性
			許可	最大 使用 病床 数	高度 急性 期	急性 期	回復 期	慢性 期	計			
6	村井産婦人科小児 歯科医院	2024 (R6) 調査	14	14	0	14	0	0	14	—	産・婦、歯、小児 周産期医療と婦人科医療を行っている。周産期医療は、自然分娩となるように妊婦健康診査に取り組んでいるが、緊急帝王切開にも対応できるような環境の為、総合病院への緊急搬送が低い診療所である。産後ケアの他、産まれてくる赤ちゃんは、母体の歯の健康が子供の歯などにも関連しているため、小児歯科診療所を併設で妊娠中から歯科診療も積極的にしている。婦人科診療は、プレコンセプションケアはとても重要であるため、思春期から更年期まで、女性特有のさまざまな症状で悩む方と向き合いながら診療している。	周産期医療は分娩件数が減少傾向であるが、病床維持し、産前から悩まれる精神的不安や身体的不安を少しでも軽減させ、より産後ケアを重要視していく。婦人科診療は女性ホルモンに関連する月経困難症などに悩ませず、それぞれにあったオーダーメイド医療を行っていく。
		2025 (R7) 見込			0	14	0	0	14	0		
7	ひろし外科肛門科	2024 (R6) 調査	11	4	0	4	0	0	4	—	肛外 患者様1人1人の症状に応じて適切な情報や医療を提供する。	同左
		2025 (R7) 見込			0	4	0	0	4	0		
8	おいかわ内科クリ ニック	2024 (R6) 調査	3	3	0	1	1	1	3	—	内、胃内、神内、 リハ 当院は内視鏡治療、特に大腸ポリペクトミーの1泊2日入院を行うことで、大腸癌の予防に寄与していると自負している。また、北東北で最初に導入し、現在でも2台しかないがん温熱療法に取り組んでいる。がん治療の選択肢として、地域医療に貢献し、8年目に突入し認知もされてきたところである。それに伴い、必要時は入院のうえ温熱療法を行っている。最後に、大病院では受け入れが難しい軽症から中等症の疾患群に対して、全人的な見解から入院治療をすることもあり、その点で有床診療所として役割を果たしている。	左記の内容を継続した上で、今後は、より社会的背景に問題を抱える症例がみられると思っている。その時、地域包括センターと協力した上で、当院の医療資源が役に立つと確信している。
		2025 (R7) 見込			0	1	1	1	3	16		

No.	医療機関名		許可病床		病床機能						診療科目	病院の役割・特色	2025年を見据えた今後の方向性
			許可	最大 使用 病床 数	高度 急性 期	急性 期	回復 期	慢性 期	計	介護 医療 院			
9	今井産婦人科内科 クリニック	2024 (R6) 調査	10	6	0	10	0	0	10	—	産婦、内、麻	地域の産婦人科診療所として、産科医療、一般不妊治療、思春期・更年期治療に対応している。	少子化に伴い、分娩数が減少している。今後は外来治療が中心となってくると思う。
		2025 (R7) 見込			0	10	0	0	10	0			
10	西島産婦人科医院	2024 (R6) 調査	9	4	0	0	0	0	0	—	産婦	令和5年9月で分娩予約を終了し、10月5日で分娩の取扱いを終了しました。	外来のみですが地方の産婦人科医療を支えてゆきます。 ※10月5日で分娩・入院休床
		2025 (R7) 見込			0	0	0	0	0	0			
11	小笠原眼科クリニック	2024 (R6) 調査	7	7	0	7	0	0	7	0	眼	眼科医療を通じて地域の急性期機能を担っており、診察治療や手術を行っている。	現在の役割を継続していく。
		2025 (R7) 見込			0	7	0	0	7	0			

No.	医療機関名	許可病床	病床機能						診療科目	病院の役割・特色	2025年を見据えた今後の方向性		
			許可	最大 使用 病床 数	高度 急性 期	急性 期	回復 期	慢性 期				計	介護 医療 院
12	もりおか静眠堂医院	2024 (R6) 調査	2	2	0	2	0	0	2	—	内、形外、呼、 循、アレ、皮	当地においても有病率が高い睡眠呼吸障害の診療を中心とする専門性の高い個人クリニックとして25年前に開院して以来、経鼻的持続陽圧呼吸療法管理に関する数多くの診療実績がある。現状では小児から高齢者まで月に1,200名程度の患者が定期来院し、県立病院等からは循環器疾患に伴う中枢性無呼吸患者が、公安委員会やJR等からは過眠症疑い患者の評価依頼等も受け、年に100名程度の新規患者を診断して地域の医療機関に逆紹介する方針をとっている。診療所ではあるが、検査のためには最低1泊の夜間検査を要することから2床の入院病院を備えている。近年では、過眠症や睡眠障害による紹介例も増加する状態にあり、睡眠医療総合専門医のみ処方許可される薬剤の処方を行う数少ない医療機関となっている。	2024年現在、県内では正式な睡眠検査施設および検査員（脳波解析が可能な臨床検査技師）を備える医療機関は極めて少ない状況にある。現状では病院群中で常時対応可能な施設が岩手医大内丸MCの睡眠医療科のみであるため、対象患者の総数を考慮すると当院も基本的機能の維持が求められる。一方で安定経営や診療レベル維持は今後とも当院の大きな課題であり、診療所に関する国や地域監督機関等の方向性によっては診療内容の簡素化や施設廃止の可能性を含めて検討しなければならない。 一方で、人口の一定割合が治療困難で治療を要する睡眠呼吸障害（男性で推定5%）を有することから、将来的に患者の絶対数が減少する可能性は総人口の推移に依存し、地域の協力医療機関の開拓や在宅脳波検査の推進を含めて連携を図ることが2025年の課題となるであろう。
		2025 (R7) 見込			0	2	0	0	2	0			
13	近藤眼科医院	2024 (R6) 調査	18	8	0	8	0	0	8	—	眼	有床診療所における急性期機能の役割を担っており、手術を実施している。	現在の役割を保ち継続していく。
		2025 (R7) 見込			0	12	0	0	12	0			
14	かなざわ内科クリニック	2024 (R6) 調査	2	2	0	2	0	0	2	—	内、呼内、アレ	生活習慣病を含む内科疾患及び呼吸器疾患、睡眠関連疾患の診断と治療を主たる業務として、地域医療に貢献している。睡眠関連疾患の診断と治療について脳波検査を含んだ終夜ポリソムノグラフィー検査を行うことが出来る。	今後も、内科、呼吸器科疾患に限らず、睡眠関連疾患の診断と治療のために、必要とされる医療を提供していきたい。
		2025 (R7) 見込			0	2	0	0	2	0			
15	細井外科医院	2024 (R6) 調査	14	0	0	0	0	0	0	—	外	20数年来、入院の実績はありません。	休棟の継続のことと考えています。
		2025 (R7) 見込			0	0	0	0	0	0			

No.	医療機関名		許可病床		病床機能					診療科目	病院の役割・特色	2025年を見据えた今後の方向性	
			許可	最大 使用 病床 数	高度 急性 期	急性 期	回復 期	慢性 期	計				介護 医療 院
16	むらた眼科クリニック	2024 (R6) 調査	2	0	0	0	0	0	0	—	眼		
		2025 (R7) 見込			0	2	0	0	2	0			
17	ゆい内科呼吸器科 クリニック	2024 (R6) 調査	2	2	0	2	0	0	2	0	呼	無呼吸症候群の検査の為にのみ使用（1泊）。	左記検査の為にのみ使用。
		2025 (R7) 見込			0	2	0	0	2	0			
18	谷藤眼科医院	2024 (R6) 調査	19	19	0	19	0	0	19	—	眼	<ul style="list-style-type: none"> ・専門医を担って病院の役割を補完する機能。 ・急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、診察・手術・治療等の医療を提供する。 ・インフルエンザ・肺炎球菌等の予防接種医療を行っている。 	現行のまま
		2025 (R7) 見込			0	19	0	0	19	0			
19	八幡平市立安代診 療所	2024 (R6) 調査	2	0	0	0	0	0	0	—	内、外	・荒屋新町地域の唯一の診療所として、外来診療を行っている。	休床中の予定
		2025 (R7) 見込			0	0	0	0	0	0			
20	上原小児科医院	2024 (R6) 調査	9	0	0	0	0	0	0	—	小		病床削減を検討中だが、診療所は生涯続けます。
		2025 (R7) 見込			0	0	0	0	0	0			
21	雫石町立雫石診療 所	2024 (R6) 調査	19	0	0	19	0	0	19	—	内	<ul style="list-style-type: none"> ・早期退院患者の在宅・介護施設への受け渡しを行っている。 ・在宅医療の拠点としての機能や終末期医療の機能を担っており、急変時の対応や看取りを行っている。 	引続き急性期機能を中心としつつ、地域医療を担う。
		2025 (R7) 見込			0	19	0	0	19	0			

No.	医療機関名		許可病床		病床機能					診療科目	病院の役割・特色	2025年を見据えた今後の方向性	
			許可	最大 使用 病床 数	高度 急性 期	急性 期	回復 期	慢性 期	計				介護 医療 院
22	佐渡医院	2024 (R6) 調査	19	0	0	0	0	0	0	—	内、外、脳外、整外、心内	病棟におきまして、令和3年12月20日より19床全て休業に入り、現在に至っています。	入院施設の稼働については、現時点で未定です。
		2025 (R7) 見込			0	0	0	0	0	0			
23	県立中央病院附属 沼宮内診療センター	2024 (R6) 調査	19	0	0	0	0	0	0	—	内、外、整外、リハ	※平成23年4月より休床中	休床中
		2025 (R7) 見込			0	0	0	0	0	0			
24	県立中央病院附属 紫波地域診療センター	2024 (R6) 調査	19	0	0	0	0	0	0	—	内、外		休床中 ※令和7年度末に廃止予定
		2025 (R7) 見込			0	0	0	0	0	0			
25	ふるだて加藤肛門外科クリニック	2024 (R6) 調査	8	8	0	8	0	0	8	—	肛外	・特殊性が強く、肛門機能に直接反映する肛門分野の診断、治療に当たる肛門病専門医（日本大腸肛門病学会専門医指導医、日本臨床肛門病学会技術認定医指導医）が2人常在し、肛門病に特化した診療を行っている。・岩手県では肛門病専門医が少なく、総合病院や外科診療所からの紹介も多く病一診、診一診連携を行っている。・近年日帰り手術が主流となっているが、手術創部が大きく出血や疼痛のリスクのある患者や、遠路の患者に入院治療を行っている。	病床数は縮小しない予定。患者ニーズを見ながら入院診療を継続する。
		2025 (R7) 見込			0	8	0	0	8	0			
26	やはば産婦人科	2024 (R6) 調査	19	15	0	12	0	0	12	—	産・婦	外来：婦人科一般、子宮がん、乳がん検診、妊婦健診 入院：分娩（帝王切開含む）、切迫早産	このまま分娩を扱います。
		2025 (R7) 見込			0	12	0	0	12	0			

No.	医療機関名		許可病床		病床機能					診療科目	病院の役割・特色	2025年を見据えた今後の方向性
			許可	最大 使用 病床 数	高度 急性 期	急性 期	回復 期	慢性 期	計			
27	もりおか往診ホーム クリニック	2024 (R6) 調査	19	19	0	19	0	0	19	—	内、外、消内、神 内、脳外 ・在宅医療支援診療所の届出を行っており、在宅医療の拠点としての機能や終末期医療の機能を担っており、急変時の対応や看取りを行っている。 ・一般外来は、内科・消化器内科を中心として診療を行い、外来対応医療機関としてコロナ患者の診療、健康診断（行政・企業）、予防接種（コロナワクチン等）も行っている。 ・病院・診療所・歯科医療機関、訪問看護ステーション・ケアマネ等と連携している。	・現状の病床機能を維持し、地域医療を担います。
		2025 (R7) 見込			0	18	0	0	18	0		
合計	合計	2024 (R6) 調査	311	163	0	177	1	1	179	0		
		2025 (R7) 見込			0	183	1	1	185	16		
		増減			0	-6	0	0	-6	16		
(参考) 病院	(参考) 病院	2024 (R6) 調査			1,189	1,361	1,192	1,188	4,930	0		
		2025 (R7) 見込			1,201	1,386	1,232	1,154	4,973	0		